



獨協医科大学公衆衛生学講座疫学班研究室配属

Bird G News

Vol. 3
2023年12月14日
発行人：阿部

みぶまち・獨協健康大学 in ふくしまつり！！

10月29日(日) 壬生町役場にて開催された「壬生町健康ふくしまつり」に、みぶまち・獨協健康大学も参加し、第2回フィールドワークを行いました。

4年ぶりの開催となったふくしまつりでは、健康相談や健康関連の啓発品の展示、町の医師会によるシンポジウムなどが開催された他、フリーマーケットや模擬店なども出店し大変な賑わいとなりました。

私たち健康大学もブースを出させていただき、ふくしまつり参加者の方々にまちの課題や健康問題についてインタビューしました。2回目のフィールドワークとなった今回は、受講生の皆さんもインタビューすることにだいぶ慣れ、積極的に声をかけに行っていました。インタビューは事前に作成したインタビューガイドにそって行いますが、それだけにとどまらず、自身の経験なども踏まえながら、多く住民の方々の話を引き出している姿には私も感心しました。たくさんの方々の声を聞けるのが楽しいといいながら走り回る受講生の皆さんは本当に元気です！！



文庫&カフェむつみオープン

8月の守本先生の公開講座に参加してくださった方が、地域の人誰でも気軽に来ておしゃべりができる「文庫&カフェむつみ」をオープンしました！！

会長の五十嵐さんは守本先生のお話を聞いて自分も何かできないかと考え、その日のうちにいろいろな人に声をかけ賛同者を募ったそうです。その行動力が素晴らしいですね！



私たちが蒔いた小さな種がこうして地域のどこかで芽をだしているのを見るのは大きな励みになります。

11月10日のカフェオープン記念日には、多くの住民の方々が集まり、手作りケーキと淹れたてコーヒーを片手に楽しそうに談笑していました。やりたいことを形にするには大変な労力と勇気が必要だったと思いますが、五十嵐さんをはじめ、カフェ立ち上げメンバーの皆さんの地域に対する強い想いがそれを現実にしたのだと、私も大変感動しました。このような活動を通して地域のつながりが広がっていくと素晴らしいですね。



「文庫&カフェ・むつみ」
住所：壬生町壬生丁3-16
問合せ：0282-82-6005
次回オープン日：1/19
(10:00-12:00)

4年生メンバー今泉君のサマーセミナー報告♪

こんにちは、4年の今泉勇人です。この度、講座からのご紹介で社会医学セミナーという公衆衛生分野の勉強会に参加し、貴重な経験ができたことについてお話ししていきます。

本年8/16-17で社会医学セミナーという催しがありました。社会医学セミナーとは、医学生を対象に社会医学を学ぶイベントです。全国の医学生らとグループディスカッションや公衆衛生の専門家の話を伺うことができます。勉強だけでなく、現地での楽しいレクリエーションもあり、多くの友人も作ることもできるセミナーです。実際にセミナーで学んだことや印象に残ったことについて話していきます。

セミナーは2日間で行われ、1日目は京都大学の公衆衛生学の専門の方々から講義を聴講しました。多学年に向けて公衆衛生の基礎のお話から、専門的な分野まで幅広い内容を取り扱っていました。ソーシャル・キャピタルといった我々が獨協の公衆衛生学で学習するものや、AEDの社会実装なども知ることができる内容でした。特に印象に残っている講義は、「コロナ禍でご活躍なさっていた”8割おじさん”こと西浦博先生でした。公衆衛生的アプローチの正しさと社会的な正しさの違いに多く悩まされていたことや、尾身会長らの専門家チームの裏舞台について臨場感あふれるお話が伺うことができました。今回のセミナーは、京都大学が主催し、寺社が美しい知恩院会館で開催されました。開催時期が大文字の送り火の日ということもあり、1日目の講義の後には特別に京都大学の医学部棟に登らせていただき、送り火を鑑賞することもできました。



2日目には、つながりと健康格差というテーマで、身寄りもなく生活習慣も乱れている患者さんをモデルに社会的処方について4-5人で話し合いました。social vital signsの観点から、人間関係や趣味、生きがいなどの項目ごとにモデルを分析し、時系列的にどの様なリソースを提供できるかを考えました。単に、医師として健康教育をすることだけでなく、コミュニティへの参加を促すことなど、1人の人間としてその方に何ができるのかを考えるプロセスは実臨床でも必要な視点であると感じました。



なにより、参加した学生らと、深夜まで飲み会をした後に、翌早朝眠い目をこすりながら朝の法要をしたことは、今でも楽しい思い出となりました。本セミナーで、あらゆる視点を学び、多くの医学生と知り合うことができたことは何事にも変えがたい経験となったことは間違いありません。ぜひ皆さんも少しでも興味があれば、来年の社会医学セミナーに参加してみたいかがでしょうか。セミナーに参加する機会を頂いた小橋先生、阿部先生を始めとし、セミナーを開催して頂いた方々に感謝を申し上げ、私からのお話を終えようと思います。

専門の先生から直接講義を聞いたり話ができただけでなく、他大学の医学生とも交流し京都の夏を満喫してきたようで、充実した時間を過ごしたことが伝わりました。今泉君、報告ありがとうございました。

編集後記 おかげさまで今のところネタ切れにならずに継続しております・・・ありがとうございます。恐ろしく早いもので、もうすぐ2023年も終わりますね。みなさんやり残したことはないですか？体に気を付けてよいお年をお迎えください。